

令和3年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第3号

令和3年6月2日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター
TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- ・活着後は水深3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。
- ・雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょう。
- ・補植用残苗はいもち病の発生源となるので、早急に処分しましょう。

1 気象経過

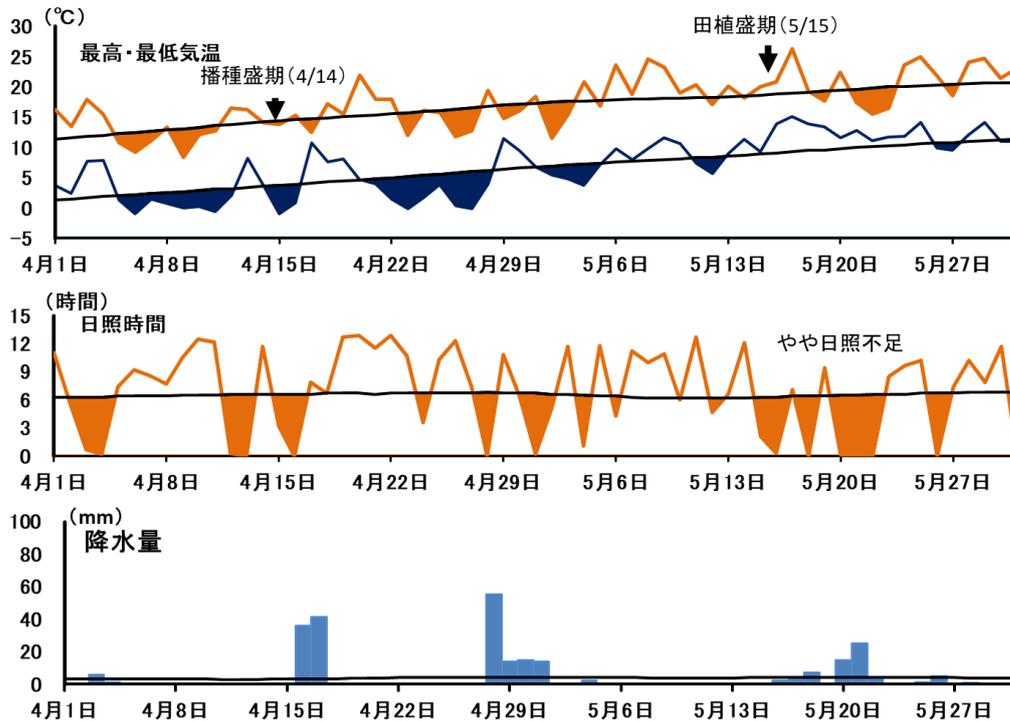


図1 気象経過（気仙沼アメダス 4月1日～5月31日）※実線は平年値

2 水稻生育調査ほの生育概況

表1 水稻生育調査結果（6月1日）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)
ひとめぼれ 気仙沼市 (気仙沼)	本 年 前年比・差 平年比・差	5/16 - -	18.7 - -	17.3 - -	112.2 - -	4.4 - -
ひとめぼれ 気仙沼市 (本吉町)	本 年 前年比・差 平年比・差	5/12 -2 -3	19.7 97% 101%	21.7 101% 103%	177.3 164% 168%	5.2 +0.9 +0.3
ひとめぼれ 南三陸町 (志津川)	本 年 前年比・差 平年比・差	5/13 +1 +1	18.2 98% 102%	21.6 108% 95%	123.8 107% 108%	4.1 -0.6 -1.0
県平均値	本 年 平年比・差	- -	- -	24.6 104%	105 91%	4.9 -0.4

- 注 1) 平年値は平成 28 年から令和 2 年までの 5 か年の平均値（志津川は平成 30 年からの 3 か年平均）。
- 注 2) 気仙沼は令和 3 年度から調査開始のため平年値，前年値ともなし。
- 注 3) 県平均値は，県内 27 地点の生育調査ほ（品種：ひとめぼれ，ササニシキ）の平均値。

- 管内の生育調査ほにおける 6 月 1 日現在の生育は，草丈が概ね平年並，㎡当たり莖数が植付本数が多くなったほ場を除き概ね平年並となっています。移植後の活着は順調であり，分けつも確認され始めています。

3 播種・田植の状況

- 播種盛期は平年より 1 日早い 4 月 14 日，田植盛期は平年より 1 日早い 5 月 15 日でした。

表 2 播種状況

	始期	盛期	終期
本年	4月3日	4月14日	4月22日
前年差	-2	-1	-1
平年差	-3	-1	±0

注) 播種の始期，盛期，終期は作付面積比でそれぞれ 5%，50%，95%が播種された時期。

表 3 田植状況

	始期	盛期	終期
本年	5月8日	5月15日	5月26日
前年差	-1	-1	+2
平年差	-2	-1	+2

注) 田植えの始期，盛期，終期は作付面積比でそれぞれ 5%，50%，95%が田植えされた時期。

4 今後の管理の留意点

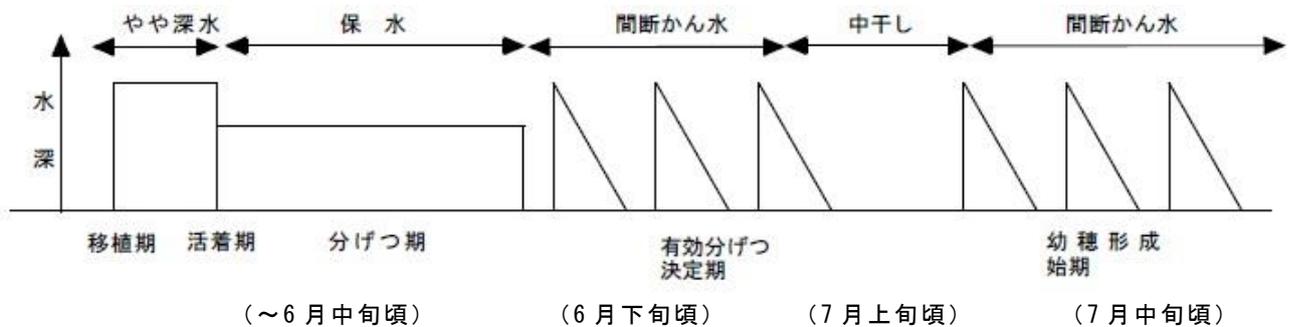


図 2 出穂期までの水田水管理体系（宮城の稲作指導指針（基本編））

【水管理】

- 活着後は水深 3 cm 程度の浅水で管理し，分けつの発生を促しましょう。
- 低温や強風が予想される場合には，5～6 cm 程度の深水としましょう。

【ガス発生軽減】

- 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では，気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり，稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中耕や一時的落水などで土壌中に酸素を供給し，根の障害を防ぎましょう。

【雑草防除】

- ・ 初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齢、稲の葉齢を確認し、中・後期剤等で適切に防除しましょう。
- ・ ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せ、また、イヌホタルイやシズイにアカスジカスミカメが寄生・産卵しますので、雑草対策を徹底しましょう。

【病虫害防除】

① いもち病

- ・ 補植用の苗は、本田でのいもち病の発生源となりますので、補植完了後は早急に処分しましょう。
- ・ 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤等）を初発の1週間前まで（6月中旬頃まで）を目安に散布しましょう。

② イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ

- ・ 移植前～移植時に箱施用剤（殺虫剤）を使用した場合は、原則として本田での防除は必要ありません。
- ・ 移植前～移植時に箱施用剤（殺虫剤）を使用しなかった場合は、移植後に以下の要防除水準を目安に防除してください。

イネミズゾウムシ	侵入盛期の畦畔際2m程度の成虫密度：100株当たり140頭 （晩期栽培の場合は70頭）（減収率5%）
イネドロオイムシ	侵入盛期の成虫密度：100株当たり25頭、 又は産卵盛期の卵塊密度：100株当たり80個（減収率0%）

〇だて正夢の栽培管理について

表4 だて正夢現地栽培技術普及展示の生育調査結果（6月1日）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)
だて正夢 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/14	21.1	25.7	175.1	4.7
	前年比・差	+1	101%	110%	205%	+0.7
	平年比・差	+1	108%	106%	165%	+0.4
だて正夢 県平均値	本 年	-	-	26.0	107	4.9
	前年比・差	-	-	107%	126%	+0.3

注1) だて正夢は平成29年から調査開始のため、平年値は令和2年までの4か年平均。

注2) 県平均値は、県内6普及センター+古川農業試験場の平均値（葉数は4普及センター+古川農試）

「だて正夢」は「ひとめぼれ」よりも茎数の増加が極めて緩やかです。茎数を確保するため、活着後は水深3cm程度の浅水で管理し、分けつ発生を促しましょう。

目標穂数 350~450本/m²

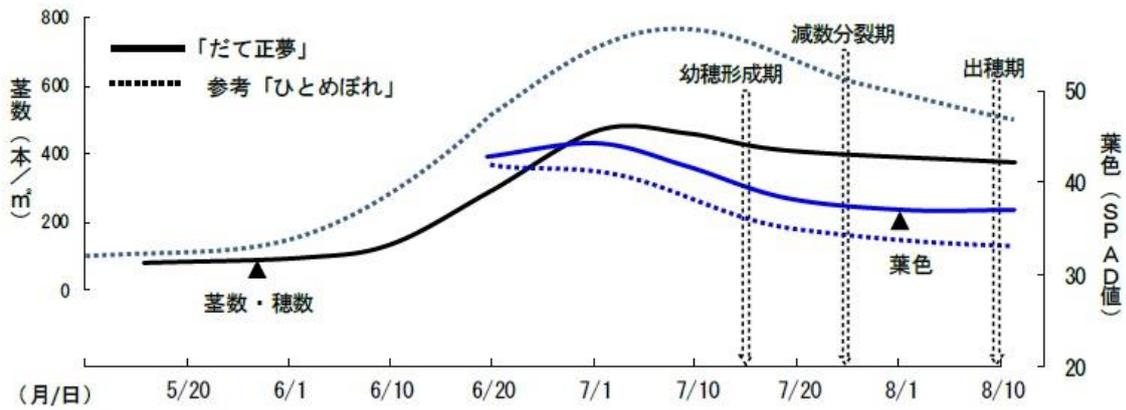


図3 「だて正夢」生育のイメージ（宮城県「普及に移す技術」第94号より）

注）平成28～30年栽培試験にて適正な籾数・収量・品質を得た試験区の生育をもとに作図

4月1日～6月30日は「春の農業安全確認運動」の実施期間です。

スローガン「見直そう！農業機械作業の安全対策」

6月1日～8月31日は「令和3年度宮城県農薬危害防止運動」の実施期間です。

○東北地方の1か月予報（5月29日から6月28日までの天候見通し）

によると、予想される向こう1か月の天候は下記のとおりです。

気温は平年並みか高く、降水量、日照時間はともに平年並みとなる見込みです。

週別では、6月上旬までの気温は平年並、6月中旬以降は平年並か高い見込みとなっています。

（仙台管区气象台による 令和3年5月27日発表）

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=040000&term=1month

○気象から見た栽培管理のポイント

→水稲の生育が早く進む可能性があるため、状況を確認しながら適期の水・肥培管理に努めてください。

→雑草の発生・生長も急速に進むため、中・後期除草剤の施用時期が遅れないよう注意してください。